前橋市広報

第百五十四號

発行所　前橋市役所　総務部秘書課広報係
編集所　前橋市役所　総務部秘書課広報係
印刷所　上毛新聞社出版部

地番五十三番町曲輪町前橋市

今月の納税

▶……今月は市（縣）民税第4期の納期です。どなたもお忘れなく納期内にお納め下さい。……◀

（総務部税政課）

市の人口世帯

	12月1日現在	11月1日現在
総数	173,023	172,860
男	83,099	82,987
女	89,924	89,873
世帯数	34,271	34,245

昭和31年12月1日現在

人口総数	171,952
世帯数	34,023

希望を胸に市政推進

お祝の辞

十七万市民の皆さん、新年おめでとうございます。昨年は内外ともに多事多端を極めた年でありましたが、国際的には国連加盟から一気に国連の安全保障理事会非常任理事国に当選、原水爆の恐ろしさを身をもつて体験したわが国が、この正月から国連外交のヒノキ舞台に立つことになり、国内においては、茨城県東海村で原子炉に大陽の火がともされ、市においては、新前橋電車区の設置が決定し、前橋駅に電車が乗り入れたのを始めとし、前橋＝東京間の直通電話の開通、また城南村一大学の合併により八百の新市民を迎え、躍進の年であつた。

昭和三十二年は、国連加盟二年間、国連事務局軍事参謀委員会の構成国となり、国際的にますます重要な地位を占めることになり、国内においては、新前橋電車区の設置が決定し、前橋駅に電車が乗り入れられ、市においては、新前橋電車区の設置が決定し、前橋駅に電車が乗り入れたのを始めとし、前橋＝東京間の直通電話の開通、また城南村一大学の合併により八百の新市民を迎え、躍進事業では、五中、女子商新校舎の建築を始め各学校の増改築、道路橋梁、上下水道の整備、商工業振興の新である西工業団地造成への施策、そのほか明るい町にするための重要事業が目の前に横たわつております。市民の皆さん、希望の年、躍進の年、昭和三十三年を一歩一歩着実に前向に二年間、国連事務局軍事参謀委員会の構成国となり、国内においては、茨城県東海村で原子炉に大陽の火がともされ、市においては、新前橋電車区の設置が決定し、前橋駅に電車が乗り入れたのを始めとし、前橋＝東京間の直通電話の開通、また城南村一大学の合併により八百の新市民を迎え、躍進事業では、五中、女子商新校舎の建築を始め各学校の増改築、道路橋梁、上下水道の整備、商工業振興の新である西工業団地造成への施策、そのほか明るい町にするための重要事業が目の前に横たわつております。市民の皆さん、希望の年、躍進の年、昭和三十三年を一歩一歩着実に前向に

【写真は関口市長】

十二月定例市議会で

教育委員に　清水　始氏
監査委員に　遠藤廣志氏　決る

昭和三十一年度の本市各会計歳入歳出決算その他を審査する定例市議会は、十一月十一日午後一時十八分から市議会議場で開会、市議会議員三十四名出席（欠席二名）市から関口市長、大関助役、今成収入役、小林議長の開会で会期を十七日までの七日間と定めて議事に入り、市村教育長その他関係部長出席

戸塚議会事務局長から諸般の報告を行い、署名議員に小暮県（房）立田、鶴井の三議員を指名、先に繰越水道教育民生両委員会に附託した請願第十四号元総社地区防火用水施設要望について、第十五号水明地区中学校新築方についての二件を審議、井上両委員長から審査報告があり、全員賛成なく採択させ、請願第一六号、十七号、十八号を教育民生委員会に付託して午後七時、十二月定例市議会を閉会しました。なお今市議会で可決された諸案と附託された請願は裏面の通り。（議案裏面）

第十回の成人祝

日時　一月十五日正午から
場所　群馬会館大ホール
第一部　式典
第二部　講演「仲間づくり」お茶の水女子大学教授　吉田昇先生
第三部　記念行事　一中ブラスバンド演奏その他

継續會第三日（十三日）

午後一時四十分開会、出席議員三十五名（欠席二名）で上程中の議案のうち第一六〇号から一六七号までの八件と一八〇号の請願に入り、長坂、岸、栗原、柴田、清水、樋田等の各議員から質疑があつた後、九件を原案通り可決成立後、五時八分散会

継續會第四日（十六日）

午後一時一分開会、出席議員三十六名出席（欠席一名）で、上程した第一五七号から一五九号、第一六八号から一七九号、第一八一号の十八件と市選挙管理委員会委員、同補充員の選挙について長坂、白石賢、目崎、白石沖、福島等の各議員から質疑があつた後、質疑を打切り討論に入り、それぞれ全議案を原案通り可決、続いて請願第十九号を教育民生委員会に付託して午後七時、十二月定例市議会を閉会しました。なお今市議会で可決された諸案と附託された請願は裏面の通り。（議案裏面）

継續會第五日（十七日）

午後四時九分開会、出席議員三十七名の全員、昨日に引続き上程中の議案に対する質疑を続行、栗原清水、樋田、後藤の各議員から質疑があつた後、質疑を打切り討論に入り、それぞれ全議案を原案通り可決、続いて請願第十九号を教育民生委員会に付託して午後七時、十二月定例市議会を閉会しました。なお今市議会で可決された諸案と附託された請願は裏面の通り。（議案裏面）

継續會第四日（十六日）

午後一時一分開会、出席議員三十六名出席（欠席一名）で、上程した第一五七号から一五九号、第一六八号から一七九号、第一八一号の十八件と市選挙管理委員会委員、同補充員の選挙について長坂、白石賢、目崎、白石沖、福島等の各議員から質疑があつた後、質疑を打切り討論に入り、それぞれ全議案を原案通り可決、続いて請願第十九号を教育民生委員会に付託して午後七時、十二月定例市議会を閉会しました。なお今市議会で可決された諸案と附託された請願は裏面の通り。（議案裏面）

継續會第五日（十七日）

午後四時九分開会、出席議員三十七名の全員、昨日に引続き上程中の議案に対する質疑を続行、栗原清水、樋田、後藤の各議員から質疑があつた後、質疑を打切り討論に入り、それぞれ全議案を原案通り可決、続いて請願第十九号を教育民生委員会に付託して午後七時、十二月定例市議会を閉会しました。なお今市議会で可決された諸案と附託された請願は裏面の通り。（議案裏面）

新年早々に

工業統計調査と…

中小企業総合基本調査を始めます

通産省では新春早々、毎年行う工業統計調査と、新らしく中小企業総合基本調査（指定された企業）を同時に行うことになりました。

この工業統計の対象となるのは専ら物品の製造販売を業とするもので市内に一千余りあり、又総合基本調査を行うのはこの内四百で指定した約三百の事業所です。この調査はいずれもわが国の経済の動向を調べる重要な調査ですから、調査員には事実ありのままを申告して下さい。なお調査票は極秘ですから統計以外の資料には使用されません。

（総務部市民課）

火災シーズンです

一戸残らず火災共済に

万一焼ると次の様な時がやつてきました。今日こそ一日焼ら子火災共済生活協同組合へ加入しましよう。

◇加入方法は……出資金百円（脱退の際は返金）に掛金をお出しになれば、誰れでも組合員になれます。

◇保険期間は……一口が給万円で四日の四拾万円まで契約できます。

◇保険掛金は……給万円について、年額三百円から六百五拾円までです。職業、職物によつて違いますから、取扱所でお聞き下さい

◇支払方法は……即日又は翌日現金でお支払いいたします。

取扱所は……

旧市域は各町区長（伍長）事務所
新市域は消防団分団員
直接には市役所庶生課内（群馬県共済生活共同組合前橋支部）へ

◎詳細を持参すれば、すべての手続きを教します。

市民の声

×　×　×

西岩神町地内

広瀬川の護岸についてお願い

旧市内を貫流する広瀬川は、市民にとつては景観の誇いものですが、その水流の激しさ、水量の多さでは先頃の小学生の死事件の例もあると和り、転落してはまた次の犠牲者を生むことになりかねません。

市といたしましては先月広瀬川沿岸一帯、特に岩神町地内の放水路の上流について重点的に調査をいたし、危険力所については緊急工事、又は鉄柵による防護柵の設置等を実施する予定にありますので、ご了承下さい。

（建設部土木課）

市からお答え

広瀬川沿の防護柵のことにつきましてのご注意ですが、先の小学生のでき死事件につきましては誠にお気の毒のことと、哀心よりお悔み申し上げます。

（西岩神一市民）

みなさんが、常日頃市役所の仕事について考えになつていることや、お聞きになりたいことは今までに幾も転落事故が多く希望されることなどは建設的なご意見がございましたら、よりよき市政をうちたてるために、どしどしお聞かせ下さい。

あて先は「市役所、総務部秘書課広報係」で住所、氏名、職業、年令を明記して下さい。尤も紙上匿名は自由です。

「なお広瀬の橋をのぞいてください。

（西岩神一市民）

自分のため、私に居住者は道路の整備は行つておりますが、見通しに鉄柵を施して市民の危険をのぞいてください。

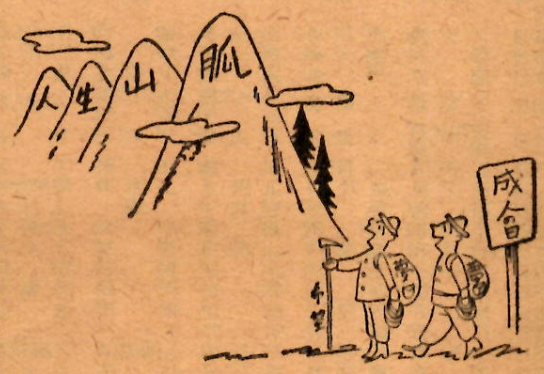
広瀬川沿の防護柵のことにつきましてのご注意ですが、先の小学生のでき死事件につきましては誠にお気の毒のことと、哀心よりお悔み申し上げます。

（総務部秘書課広報係）

実話

（一月一五日は成人の日）

「青年よ、夢と希望をもて」



県営住宅 入居希望者の申込締切りは十七日

県では、たび今県営住宅の入居希望者を募集しています。（前橋市内募集分）

◇住宅の種類＝簡易耐火平家建六坪（小家族向）

◇募集場所及び使用料＝天川大島町　月八〇〇円

◇募集戸数＝二四戸

◇入居資格　❶県内に住所又は勤務場所を有し（原則として六カ月以上）住宅に困窮している者　❷昭和三十一年度県市町村民税五千円以上の決定を受け完納したもので、前橋市内に居住している確実な保証人が一名ある者。　❸独立の生計を営み、月収の合計から扶養家族一人につき千円を控除した額が一万六千円以下の者。　❹世帯員一人以上四人以内であること。

◇申込受付日時及び場所　一月十三＝一七日　県営繕課

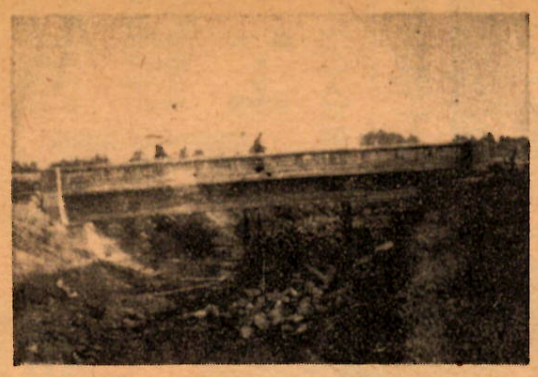
◇入居者決定方法　資格調査の上公正な方法で決定する。

以上のほか不明の点は県営繕課（電話四五一番）へ問い合せ下さい。

水道管や水栓の防寒装置を急ごう

いよいよ寒さも厳しくなり、水道管や水栓類の凍結による故障が多くなる季節となりましたが、毎年この時期には一日百件を超える故障が数十回に亘り発生し、その都度水道部と市内の指定水道工事業者とが全力を挙げて、終日修繕にあたつておりますが、修繕技術員は特殊な者で限りがありますので全部の修繕を了えることが出来ず皆さんに大変で迷惑をおかけいたしております。しかしながら各家庭でちよつとした注意と簡単な防寒装置とで凍結を防ぐことができます。

各家庭での防寒装置としては屋内、屋外のむきだしになつている水道管にわらなわ、布切れ等を巻き、雨水のかからないように木で囲うだけの簡単なもので案外効果があります。なお夜間やすむ前に水道の栓口から糸を引く程度の極く少量の水を出しておきますと一層効果があります。（水道部）



前田橋改築　小坂子町と中央市街を結ぶ市道のうち鳥取町の藤沢川にかけられている「前田橋」が12月10日完成しました。新橋は写真の通りのT桁橋で橋長14米50、巾員5米60、工費は129万8千円でした　（建設部土木課）

メートル法普及 ポスター入賞者決定

市が正量計量調査運動の一環として、メートル法の普及宣伝を目的としたポスター作品を市内の中学校、高等学校生徒から募集したところ優秀作品一二二点の応募がありましたので、市では早速、横山町小石神社境内に「ポスター作品展とメートル法クイズ」を開催、メートル法に慣れようーと呼びかけました。なお入賞者次のとおり

◇中学校の部

一等　南雲幸生（桂萱中）

二等　勝山屋年、鈴木保高（桂萱中）

三等　早部文子、斎藤博子、中沢和江（桂萱中）

佳作　菅野文子、斎藤せん、船津あさ子（桂萱中）　大山仙男、持木敏子（総社中）

◇高等学校の部

一等　手島　章（前商校）

二等　金子幸子（前女校）、飯田　薇（前商校）

三等　鈴木健三（前商校）、須賀志づ子、須田雅子（前女校）

佳作　小山猶茂、関野治之、須藤幸広（前商校）　真貝昌子、仙田悦子（前女校）（経済部商工課）

消防車を購入

これで消防車十六台に

消防本部では、去る十二月、新鋭小型消防車を購入しました。これは一九五七年式ニツサンジユニアー・エンジンは一〇五馬力、車体の長さ四・八米、巾一・七米、高さ二米で、可搬ポンプを積載した第二ポンプです。価格は、一、七八四千円で、特長はニツサン・ジユニア改造消防車としては全国の第一号で、狭い道路や水利の不便なところでも活動でき、自動車には無線装置がありますので、走行中でも、火災現場からでも連絡が自由です。

（写真は新鋭消防自動車）

自転車の無灯火と二人乗りはやめましょう

市民スキースケート大会開催

市民スケート大会と同スキー大会が開催されます。参加資格は市民であればどなたでも参加できます

★スケート大会

日時　1月19日（日）午前9時

会場　赤城山大沼

種目　❶一般男子　A五百、千五百、三千、B五百、千五百、C五百、千五百、❷高校男子（一般と同）　❸女子　五百、❹一般男子、女子フイギヤー五百　❺フイギヤー

★スキー大会

日時　一月二日（日）午前九時

会場　赤城山スキー場（雪不足の場合は上越）

種目　❶大回転、❷距離競技

申込場所　市内各運動具店、市教育委員会事務局

申込締切　一月二十五日午前中（社会教育課）

参加申込　❶参加料（無料）　❷申込所　市内各運動具店、立川町遊藤靴店、市教委事務局　❸申込締切　一月十三日

健康優良幼児表彰

市では明年四月、小学校へ入学する幼児を対象に、第一次、第二次の精密な健康審査を行い、男女各十名の優良幼児を決定し、九日県医師会館において、晴れの表彰を行いました。表彰された第一回健康優良幼児の氏名は次のとおり

幼児氏名　住所　保護者

遠藤広　上泉町　久治

鹿野賢次　小坂子町　富五郎

12月市議会で議決された議案その他

▽市議会議案第二五七号＝昭和三十二年度一般特別会計歳入歳出決定について（監査委員の審査結果の意見を添付し、認定を求める）

▽同第一五八号＝前橋市監査委員設置条例改正について（本市に監査委員四名を置き、学識経験を有する者の中から選任された監査委員のうち、一人を常勤とする）

▽同第一五九号＝前橋市監査委員の給与条例設定について

▽同第一六〇号＝前橋市特別職の職員の給与に関する条例改正について（第五条第一号中「百分の百六十五」を「百分の百八十」に改める）

▽同第一六一号＝前橋市一般職の職員の給与に関する条例改正について（第十六条第二項中「百分の二百六十」を「百分の二百二十」に改める）

▽同第一六二号＝前橋市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例改正について（第三条第二項中「百分の二百三十」を「百分の二百六十」に改める）

▽同第一六三号＝昭和三十二年度前橋市才入才出追加更正予算（前回までの累計額十一億二千百六十五万千百八十四円、追加更正予算額十一億二千四百三十六万二千二百九円、追加更正増二百七十三万二千二十五円）

▽同第一六四号＝昭和三十二年度特別会計前橋市児童遊園費才入才出追加更正予算（前回までの累計額三百四十三万千五百円、追加更正予算額四百一万一千四百六十六円、追加更正増五十七万一千九百六十六円）

△同第一六六号＝昭和三十二年度特別会計前橋市競馬場費才入才出追加更正予算（前回までの累計額三百四十三万千五百円、追加更正予算額四百一万一千四百六十六円、追加更正増五十七万一千九百六十六円）

▽同第一六七号＝昭和三十二年度前橋市水道事業会計追加更正予算

▽同第一六八号＝起債について（三百万円を起債する）

▽同第一六九号＝起債について（し尿消化槽新設費に充てるため三百万円を起債する）

▽同第一七〇号＝起債について（第五中学校新築費に充てるため一千二百万円を起債する）

▽同第一七一号＝起債について（公営住宅建築費に充てるため九百八十万円を起債する）

▽同第一七二号＝起債について（道路橋梁改修費に充てるため三百五十万円を起債する）

▽同第一七三号＝起債について（元総社中学校改築費に充てるため三百八十万円を起債する）

▽同第一七四号＝起債について（女子高校新築費に充てるため八百万円を起債する）

▽同第一七五号＝起債について（下水道事業費に充てるため一千万円を起債する）

▽同第一七六号＝起債について（高校整備事業費に充てるため五百万円を起債する）

▽同第一七七号＝起債について（上水道事業費に充てるため五百万円を起債する）

▽同第一七八号＝市吏員退職給与金をもつて砂防会館新築資金の出資について（出資金額二十七万円以内）

▽同第一八〇号＝前橋市新市議設置条例改正について（本市所有の土地「古市町地内」を日本国有鉄道へ電車区用地として譲渡する）

▽同第一八一号＝前橋市監査委員選任について（本市監査委員大林正義昭和三十二年十月十一日任期満了につき後任者を次のとおり選任したので同意を求める

岩神町八〇五番地　遠藤広志

▽同第一八二号＝前橋市教育委員選任について（本市教育委員一名欠員中につき後任者を次のとおり選任いたしたいので同意を求める。曲輪町一四番地　清水始

▽同第一八三号＝固定資産評価員選任について（本市固定資産評価員高橋藤治十二月十日辞任したので次の者を選任いたしたいので同意を求める。事務吏員　高橋誠則

▽同第一八四号＝前橋市他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と、市教職員の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例設定について

▽同第一八五号＝市吏員退職給与金をもつて砂防会館新築資金の出資について（出資金額二十七万円以内）

▽同第一八六号＝前橋市新市議設置条例改正について

▽同第一八七号＝市有土地貸付用途変更について（本市所有の群馬県利根川工事事務所敷地として貸付中の内、その一部を群馬県婦人相談所敷地とする）

▽同第一八八号＝昭和三十二年度前橋市才入才出追加予算（前回までの累計額十一億二千四百三十六万二千二百九円、追加予算額九百万四百五十二円、計十一億三千三百三十六万二千六百六十二円）

▽議会議案第三号＝六供生川土地区画整理事業施行の前橋同地域内の町界、字界の変更のことについて

▽前橋第十六号＝天川小学校々舎増築について

▽同第十七号＝岩神小学校々舎増築について

△同第十八号＝市立女子高校建築に伴う重町地区の整備その他について

▽同第十九号＝堺小学校統廃合について

1月の自動車文庫

時	9時	10時	11時	1時	2時	3時
日6	日	鳥家丸倉	鳥翼A員	関明田出	渋井石倉	友田
8日	デ	朝川大	侯片	神代小	石箱	
9日	ヌ寺	徳下天	原三西	石小北	上大前	
10日	日	公鶴房	上上	三東	亀勝	龍巣青
11日	日	A路丸倉	機B員	泉沢寺	牧鳥子	野倉B
13日	日	田光	朝長	侯片	蔵梨	石羽
14日	日	公横宮	天任東	幸上	堀鳥上	川鍛前
16日	日	田	上	泉之	細	石羽
20日	日	B手地	鳥毛野	塚A	下取井	原治原
21日	日	公横宮	川上	泉堤	総社	新
22日	日	田	上	五青関	栗清	元江下
23日	日	龍新下	天本下	上上	五青関	栗清
24日	日	門堀鳥	島村機	神B	代柳根	島野
25日	日	佐川大	長	泉堤		
28日	日	内阿	大			A田
29日	日	阿下後	上	女下	亀上	小下田
30日	日	矢方上	野	小	島	大池
		宿内関	島	屋	沖宅	元古上
		矢下	川山	上	青	総市相
		公鶴房	上	上	三東	元古小
		田光	朝長	侯片	蔵梨	石羽
		A路丸倉	機B員	泉沢寺	牧鳥子	野倉B
		鳥家丸倉	鳥翼A員	関明田出	渋井石倉	友田
		デ	朝川大	侯片	神代小	石箱
		ヌ寺	徳下天	原三西	石小北	上大前

人事異動發令

市では十二月一日付と十日付で、次のとおり人事異動を発令しました。（カツコ内前職）

総務部長　山下正男（社会部長）

社会部長　小阿瀬和夫（人事課長）

◇総務部

人事厚生課長＝高橋藤治（税政課長）、税政課長＝高橋誠則（人事課長代理）、収税課長＝橋爪義男（出納室長代理）

◇出納室

出納室長代理＝清水実（総務部庶務課長代理）

大沢榛次郎　堀川町二九　再

高橋　清　巨輪町二七　再

鮭延善十郎　大渡町二〇　再

◇同補充員

中村　實雄　前代田町三五二

廣井中一郎　細ケ沢町一〇

井田　友佐　亀里町一、三五五

（総務部庶務課）

市選管委員 同補充員決る

十一月八日任期満了となつていた市選挙管理委員会委員と同補充員が、十六日の市議会で指名推薦により決りました。（任期三年）

◇選挙管理委員会委員

米倉文夫　江木町　文吉

常井　洋　岩神町　巖

佐々木光男　才川町　宏蔵

菊田武光　神明町　武雄

青沢俊夫　総社　良雄

品川　明　川端町　浜平

女屋健一　上大島町　久男

山口和美　天川町　登喜男

田村純子　後家町　千代吉

萩原真由美　才川町　健守

関口登子　天川町　茂

中条由美子　朝倉町　次雄

山村俊江　総社　清矢

島田知代子　国領町　彦三

末吉真智子　百軒町　興利

田中かほる　新堀町　正興

町田恭子　公田町　美亀男

育川晴美　才川町

（社会部衛生課）

◇同補充員

一等　手島　章（前商校）

二等　金子幸子（前女校）、飯田　薇（前商校）

三等　鈴木健三（前商校）、須賀志づ子、須田雅子（前女校）

佳作　小山猶茂、関野治之、須藤幸広（前商校）　真貝昌子、仙田悦子（前女校）（経済部商工課）

1月の前橋競輪

1月の前橋競輪は次の通り開催されます。車券發賣は午前11時です。

（經濟部企業課）

2日　3日　4日　5日　6日　7日

ことしはイヌ年 イヌも歩けば

犬は生れて二十日たつと、人間の一才と同じくらい成長する。百日目には五才になり、一年たつと十八才、人間でいえば血気さかんな青年である。四年で三十才、九年で五十才、十四年で七十才になる

〝犬も歩けば棒にあたる〟というと、よく出歩いていさえすれば、うまい拾いものをしたり、うまいことに出合つたりすることの意味のように考えている人が少なくない。ところが、もともとのことわざの意味は、「方々へ出しやばると思わぬわざわいに合う」というのである。はて？

1月の今昔

◇本町に生糸市場開く（元和二年）今から約三百四十年前始めて本町に前橋市場を開き毎月四、九の日を定日として生糸の取引を行つた。

◇前橋監獄ができた（明治二十一年）現在の前橋刑務所。大正十一年改称。

◇敷島座の火事（明治三十八年）立川町の現在の電気館の東にあつた敷島座が焼け、死者十七、負傷者約二百名を出した。

◇本市水道敷設起工（昭和二年）昭和四年二月二十一日始めて通水された。

◇本町に生糸市場開く（元和二年）今から約三百四十年前始めて本町に前橋市場を開き毎月四、九の日を定日として生糸の取